

私たちが望む未来に向けて -MDGsからSDGsへ-

ニッポンCSRコンソーシアム
2016ステークホルダー・エンゲージメント・プログラム

2016年6月15日（水） 於：AP東京丸の内

国連開発計画(UNDP) 駐日代表事務所 安部由紀子

目次

1. 国連開発計画 (UNDP) とは
2. ミレニアム開発目標 (MDGs) から
持続可能な開発目標 (SDGs) へ
3. 民間セクターと開発支援

国連開発計画（UNDP）とは



*Empowered lives.
Resilient nations.*

**United
Nations
Development
Programme**

UNDPの概要

1966年設立(本部：ニューヨーク)

総裁：ヘレン・クラーク（7年間）

129の国・地域に拠点
約170カ国・地域で活動

スタッフ数：約8,000人(日本人83人)

年間予算：約45億ドル(2015)

⇒日本が最大の拠出国（約3.55億ドル）

⇒駐日代表事務所（1979年設立）



重点分野：

- ① 持続可能な開発 ⇒気候変動対応、女性の社会参加促進、若者の人材育成など
- ② 危機対応と強靱な社会の構築 ⇒防災、災害・感染症からの復興支援など
- ③ 民主的ガバナンスの強化 ⇒選挙・司法システムの構築支援など

⇒国連の“総合商社” “市役所” & 途上国における国連機関のまとめ役

國際聯合機構圖

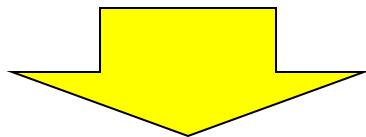


UNDPと国連システム

プログラム実施国で2重の役割

1. 開発パートナー
2. 国連常駐調整官制度の運営者

国連開発システムの一貫性と効率性の向上

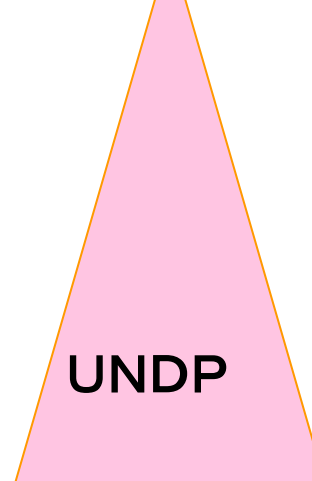


ひとつの国連
(Delivering as One)

国連常駐調整官制度

途上国における
典型的な国連システム

国連常駐調整官・
UNDP常駐代表



UN諸機関

UNICEF
UNESCO
ILO
WHO 等

UNDPの活動事例：世界の開発現場から



ネパール復興支援
(2015年)



シリアの電力プラント
(2016年)



ガザ地区のスポーツ
を通じた若者支援
(2016)



南スーダン独立を問う
住民投票(2011)

UNDPの活動事例：世界の開発現場から ②



Empowered lives.
Resilient nations.



地雷除去



イラクの病院再建
(2016年)

チュニジアの
民主化支援(2014)

ラテンアメリカの
クリーンエネルギー
(改良型コンロ)



②

ミレニアム開発目標（MDGs）
から持続可能な開発目標
（SDGs）へ

ミレニアム開発目標(MDGs)



目標1： 極度の貧困と飢餓の撲滅



目標2： 普遍的初等教育の達成



目標3： ジェンダー平等の推進と女性の地位向上



目標4： 乳幼児死亡率の削減



目標5： 妊産婦の健康の改善



目標6： HIV/エイズ、マラリア、その他の疾病の蔓延防止



目標7： 持続可能な環境の確保



目標8： 開発のためのグローバル・パートナーシップの推進

国際社会の
共通目標

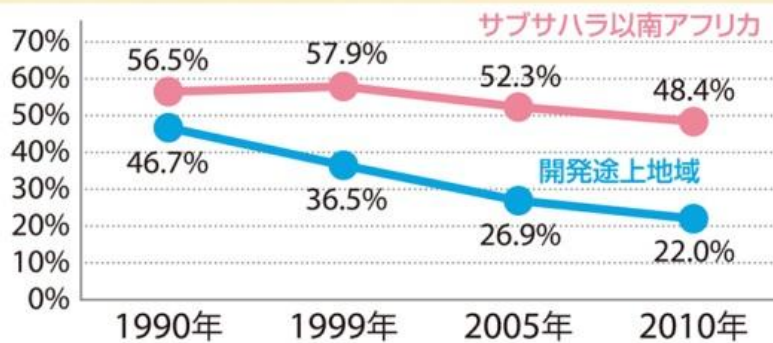
21ター
ゲット

達成期限：
2015年

私たちの住む世界：MDGsの進捗

目標1：極度の貧困と飢餓の撲滅

1日1.25米ドル未満で生活する人々の割合



出典：The Millennium Development Goals Report 2014

目標2：普遍的初等教育の達成

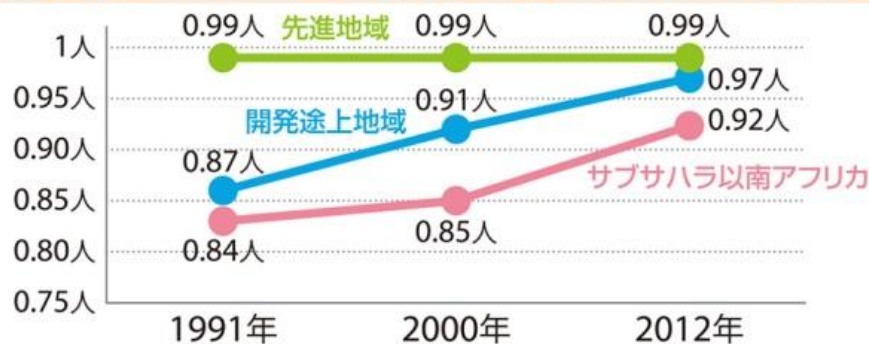
初等・中等教育への就学率



出典：The Millennium Development Goals Report 2014

目標3：ジェンダー平等の推進と女性の地位向上

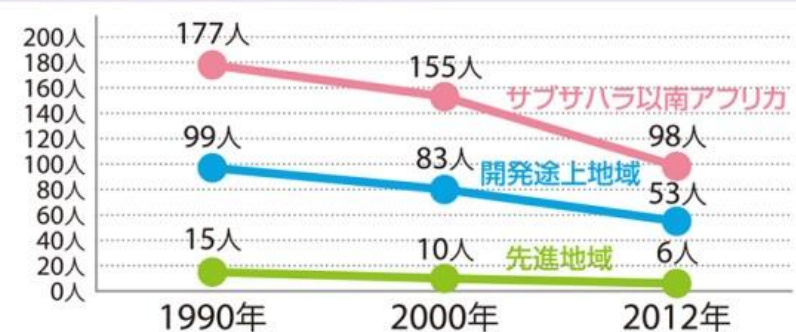
初等教育機関に入学する男児に対する女児の比率(男児を1とした時の女児の人数)



出典：The Millennium Development Goals Report 2014

目標4：乳幼児死亡率の削減

5歳未満児の死亡数(1000人あたり)

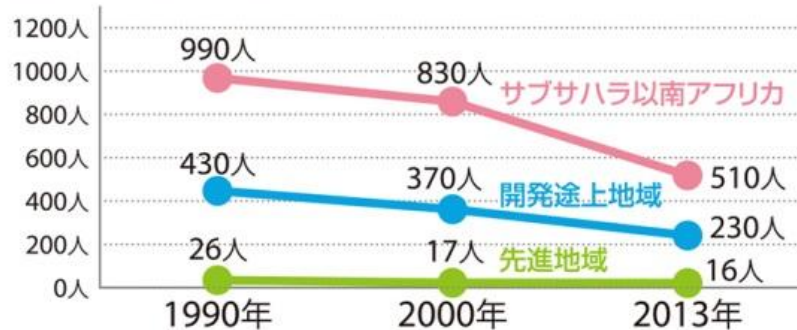


出典：The Millennium Development Goals Report 2014

私たちの住む世界：MDGsの進捗

目標5：妊産婦の健康の改善

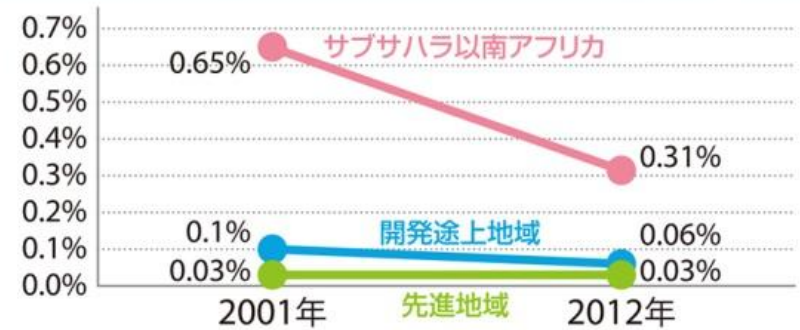
妊産婦の死亡数(出生児10万人あたり)



出典: The Millennium Development Goals Report 2014

目標6：HIV/エイズ、マラリア、その他の疾病の蔓延防止

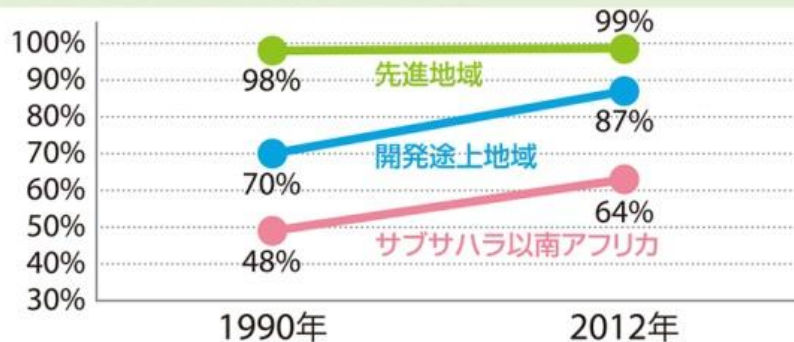
HIV発生率(15歳から49歳の100人あたりの年間新規HIV感染者数の推定値)



出典: The Millennium Development Goals Report 2014

目標7：持続可能な環境の確保

改善された水源を利用する人々の割合



出典: The Millennium Development Goals Report 2014

目標8：開発のためのグローバル・パートナーシップの推進

ドナー国の国民総所得(GNI)に占める政府開発援助(ODA)の割合



出典: The Millennium Development Goals Report 2014

「Picture This : 世界を写そうーミレニアム開発目標 (MDGs) 写真コンテスト&写真展」



Picture This:
We Can End Poverty
Working globally to achieve
the Millennium Development Goals



PARTNERS:



- ・2010年にMDGs広報、啓発のために開催
- ・「MDGs」をテーマに世界各地から3400点以上の応募
- ・ニューヨーク国連本部で表彰式、展示会

日本国内で写真展&イベント、世界1周

2010年—2012年にかけて

- ・東京、大阪、神戸、名古屋、札幌など12会場で写真展、計4万人以上が参加
- ・東京たまプラーザでは1週間、イベントも連日開催
- ・ピースボートの船と一緒に世界1周、シンガポール、バルセロナ、オランダ、メキシコなど各寄港地や国内船上体験会にて写真展



UNDP & JICA × ソニー社“Join the Team!”プロジェクト



empowered lives.
resilient nations.



FIFAワールドカップ パブリック ビューイング



高耐久性ボールの開発と寄贈

エコ技術を駆使したボールを開発、
アフリカの子どもたちへ3372個寄贈

子どもの夢の実現を支援

子ども1.5万人をサッカー 観戦招待

ソニーグループの社員の募金等で
貧困で観戦できない南アフリカ共和国の
12歳から15歳の子ども1万5千人を招待

招待の条件は、

HIV/エイズ教育活動への参加

サッカーを通じた 社会開発活動支援

ソニー製品・写真撮影のトレーニング
キットを32のグループ・47のNGOに提供
子どもに表現の場を提供

SONY
make.believe

X



X



・2010年に開催されたFIFAワールドカップの
オフィシャルスポンサーであるソニー社と
JICAと**官民連携プロジェクト**実施。

・テレビ普及率の低いアフリカにおいて、
サッカーのパブリックビューイングを開催、
HIVエイズの啓発活動を実施。

・裨益者は**2万8千人以上**。

FIFAワールドカップ パブリックビューイング



Empowered lives.
Resilient nations.

SONY
make.believe

大型映像装置を設置
サッカーの試合を生中継
機材供与・トレーニング

【ガーナ共和国】 (15地域18会場)
【カメルーン共和国】 (4地域5会場)

2万1千人参加
7千人参加
試合前後・ハーフタイムに

**HIV/エイズの啓発・カウンセリング・
検診実施**



(2010年3月 SONY・UNDP・JICA共同会見)

パブリックビューイング HIV/エイズまん延対策への成果



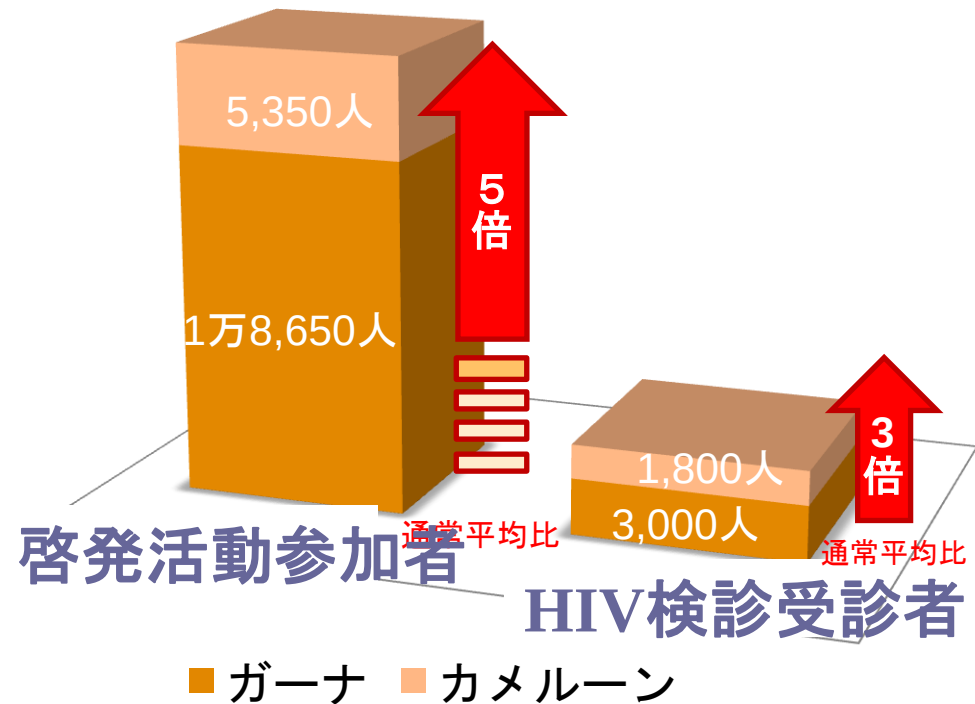
Empowered lives.
Resilient nations.

開発課題の現状

	ガーナ	カメルーン
FIFAランキング	41位	62位
人間開発指数 (HDI) 順位	140位	153位
乳幼児死亡率 (1000人あたり)	52.3人	94.5人
HIV感染者 (15歳以上)	23万 人	60万人

(FIFAランキングは2016年2月時点、HDI及び乳幼児死亡率は人開発報告書2015参照、HIV感染者数はUNAIDS2014年時点)

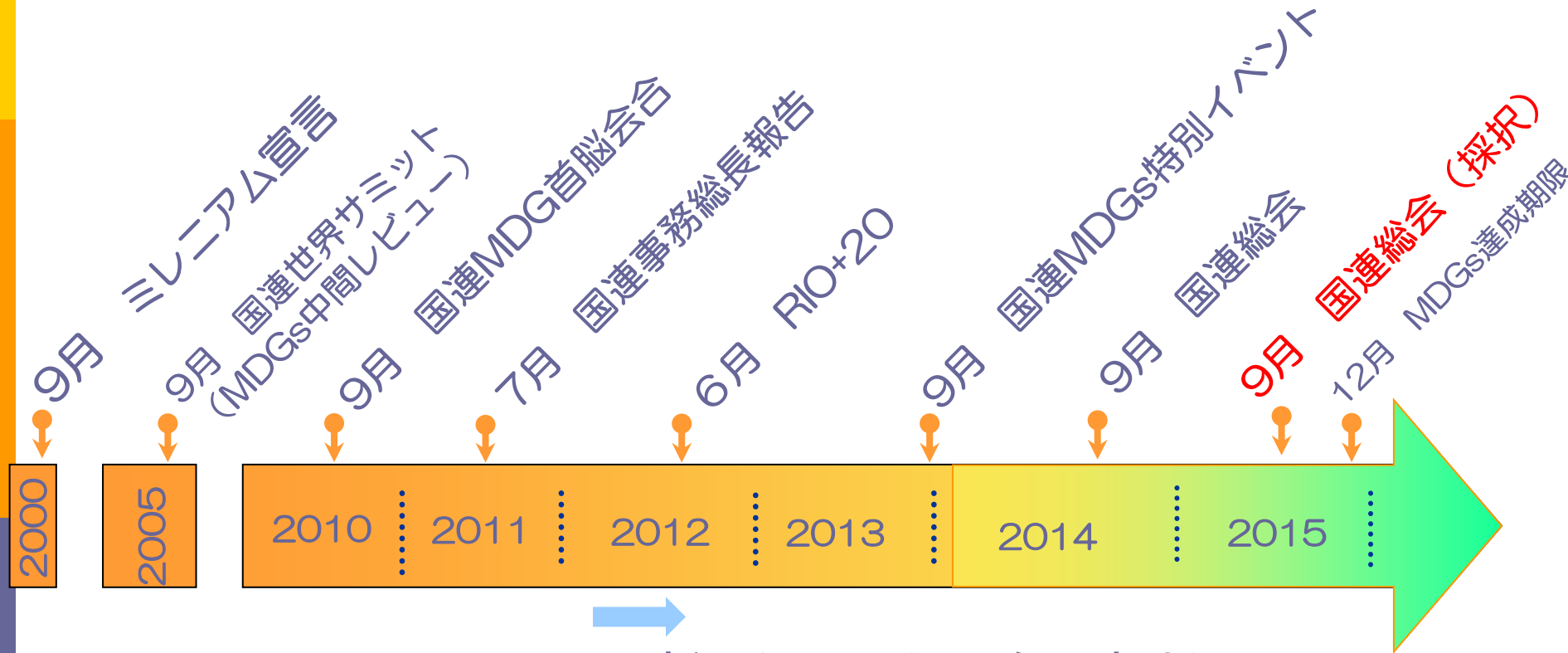
パブリックビューイングの成果



ポスト2015開発アジェンダ策定 プロセス



Empowered lives.
Resilient nations.



国連タスクチーム (2012年6月提出)

ポスト2015HLP (2013年5月30日提出)

UNDGコンサルテーション・プロセス (-2013年)

民間セクターの開発への貢献に関する最新トピック： 「SDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)」

SDGsとは？

- ・ 2015年までの「ミレニアム開発目標」(MDGs)に替わる2030年までの国際目標(17の目標と169のターゲット)
- ・ 途上国だけでなく、先進国の目標でもある
- ・ 「経済」「社会」「環境」の3側面を調和させた目標
- ・ 政府代表から一般市民まで、多様な多くの人々が議論して決めた目標
- ・ 官の政策だけでなく、財・市民社会、みんなの力で達成する目標
- ・ 目標とターゲットが多すぎる？
⇒多くの「みんな」を巻き込める



持続可能な開発目標（SDGs）概要

1 NO POVERTY



貧困をなくそう

2 ZERO HUNGER



飢餓をゼロに

3 GOOD HEALTH AND WELL-BEING



すべての人に健康と福祉を

4 QUALITY EDUCATION



質の高い教育をみんなに

5 GENDER EQUALITY



ジェンダー平等を実現しよう

6 CLEAN WATER AND SANITATION



安全なトイレと水を世界中に

7 AFFORDABLE AND CLEAN ENERGY



エネルギーをみんなに
そしてクリーンに

8 DECENT WORK AND ECONOMIC GROWTH



働きがいも 経済成長も

9 INDUSTRY, INNOVATION AND INFRASTRUCTURE



産業と技術革新の基盤をつくろう

10 REDUCED INEQUALITIES



人や国の不平等をなくそう

11 SUSTAINABLE CITIES AND COMMUNITIES



住み続けられるまちづくりを

12 RESPONSIBLE CONSUMPTION AND PRODUCTION



つくる責任 つかう責任

13 CLIMATE ACTION



気候変動に具体的な対策を

14 LIFE BELOW WATER



海の豊かさを守ろう

15 LIFE ON LAND



陸の豊かさも守ろう

16 PEACE, JUSTICE AND STRONG INSTITUTIONS



平和と公正をすべての人に

17 PARTNERSHIPS FOR THE GOALS



パートナーシップで
目標を達成しよう

SDGsを巡る最新の動き

SDGs採択後初のG7サミットである伊勢志摩サミット
(5月26－27日)を巡り、日本政府内で新たな動き

G7伊勢志摩サミットでの 力強いメッセージ

- ・首脳宣言で、G7が国際社会においてSDGsの実施を進めるとのコミットメントを強調

SDGs推進本部の 設置

- ・5月20日、G7サミットに先立ち設置
- ・安倍総理が本部長
- ・日本政府としての実施指針を策定

G7に向けた 日本の貢献策

- ・中東地域の安定化のための協力:総額約60億ドルの支援
- ・国際保健:国際保健機関に対する総額11億ドルの支援
- ・女性の活躍推進

③

民間セクターと開発支援

UNDP-民間セクター連携戦略

- ①政策と制度的インフラへの関与
- ②貧困削減につながる商品やサービスの促進
- ③バリューチェーンへの民間投資家の仲介・促進
- ④包括的な起業家の育成
- ⑤MDGs/SDGsの達成を支援するCSRの奨励

A large orange arrow points from the list of five points towards the right, indicating a flow or result.

**包括的な
市場の開発
IMD
(Inclusive
Market
Development)**

パートナーシップ・コンセプト

貧困層を消費者または生産者・販売者としてビジネスに取り込む
ことにより、企業と貧困層に益する開発。

民間企業= 「経済」「ハード」に強み

- ・製品
- ・技術
- ・市場の経験・知識
- ・人材
- ・資金

+

UNDP= 「社会」「ソフト」に強み

- ・対象人口(貧困層)の
知見、経験
- ・現地関係者との
パートナーシップ
- ・高い信頼性・知名度
- ・政策レベルへの影響力

=

新しいビジネス モデルの創出

商業利益と
開発利益の両立
を実現

民間企業とUNDPの強みを組み合わせ、
新しいビジネス・モデルの構築を目指す



IMD Inclusive Market
Development

アプローチ
包括的な市場の開発

GIM Growing Inclusive
Markets Initiative

事例分析・共有
包括的な市場の育成
イニシアティブ

**UNDPと
民間セクターの
連携**



4つの連携分野

- 途上国開発における民間技術の実証と開発プロセスの加速
- 民間ノウハウを活かした途上国の人材の育成
- 途上国の危機対応と早期復興の支援
- 開発課題の解決に向けた共同の広報キャンペーン



BCtA Business Call
to Action

ビジネス行動要請

事例 1：途上国開発における民間 技術実証、開発プロセス加速

- パートナー企業：ウェルシィ
- 実施国：ケニア
- 事業内容：緩速ろ過装置および水質浄化剤を活用した「浄水・農業振興ビジネスモデル」開発
- 期待される成果：安全な水の提供。浄化した水や伝統野菜の近隣への販売を通じた地元住民の現金収入の増加（コミュニティビジネスの実現）。



事例2：民間ノウハウを活かした 途上国の人材育成

- パートナー企業：良品計画
- 実施国：エクアドル
- 事業内容：エクアドル・アマゾン地域東部の住民の生活向上を目的として、現地の自然素材を活用した手工芸生産者の人材育成と商品開発を実施
- 期待される成果：持続可能なビジネスの開発、良品計画ネットストアでの商品販売を通じた現金収入増加とそれに伴う子どもの就学率向上



事例3：途上国の危機対応と 早期復興支援

- パートナー企業：パナソニック
- 実施国：リベリア、ギニア、シエラレオネ
- 事業内容：エボラ感染により隔離されている世帯にソーラーランタン約3000個を寄贈
- 期待される成果：感染地域コミュニティの生活改善と復興の加速、保健衛生の向上



UNDPと連携した日本の民間企業のプロジェクトにSDGsを当てはめると・・・

株式会社ウェルシィ

緩速ろ過装置を活用した安全な水の提供と農作物・水販売ビジネスモデルの開発

(2013年：ケニア)



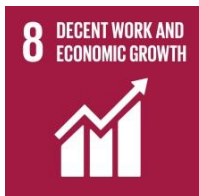
あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ。



飢餓に終止符を打ち、食料の安定確保と栄養状態の改善を達成するとともに、持続可能な農業を推進する。



すべての人に水と衛生へのアクセスと持続可能な管理を確保する。



すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用と働きがいのある人間らしい仕事を推進する。



持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。

株式会社良品計画

アマゾン地域の手工芸品生産者の商品開発と販路拡大の支援

(2013-2014年：エクアドル)



あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ。



ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女性のエンパワーメントを図る。



すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用と働きがいのある人間らしい仕事を推進する。



持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。

第6回アフリカ開発会議（TICAD VI）



- ・ 8月27日（土）－ 28日（日）開催
- ・ 日本政府主催、UNDP等共催
- ・ アフリカで “初めて” の開催
（第1～5回は日本にて）
- ・ 産業、保健、社会の安定を主要テーマに議論
- ・ 約6000人が参加予定（アフリカ首脳、閣僚、国際機関、政府、NGO、民間セクターetc.）
- ・ アフリカ開発において存在感を増している民間セクターの役割を受けて、民間セクターとの「直接対話」も予定。
- ・ 紺野美沙子UNDP親善大使
「ケニア視察ミッション」
8月3日（水）－ 9日（火）

参考

UNDP駐日代表事務所HP

<http://www.jp.undp.org>

UNDP 駐日代表事務所 Facebook



<https://www.facebook.com/UndpTokyo>

UNDP駐日代表事務所 Twitter

https://twitter.com/UNDP_Tokyo



ご清聴、ありがとうございました



Photo:Yukiko Abe in Bangladesh